

平成19年度

決算報告書

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

国立大学法人和歌山大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人和歌山大学

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	4,143,435,000	4,498,205,924	354,770,924	注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	23,000,000	23,000,000	-	
補助金等収入	16,224,000	43,351,200	27,127,200	注2)
自己収入	2,678,890,000	2,697,802,411	18,912,411	
授業料、入学金及び検定料収入	2,619,547,000	2,631,872,174	12,325,174	注3)
雑収入	59,343,000	65,930,237	6,587,237	注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	181,880,000	247,149,565	65,269,565	注5)、注10)
目的積立金取崩	140,936,000	26,269,553	△ 114,666,447	注6)
計	7,184,365,000	7,535,778,653	351,413,653	
支出				
業務費	5,944,163,000	5,741,773,060	△ 202,389,940	
教育研究経費	5,944,163,000	5,741,773,060	△ 202,389,940	注7)
一般管理費	1,019,098,000	863,007,582	△ 156,090,418	注8)
施設整備費	23,000,000	23,000,000	-	
補助金等	16,224,000	43,351,200	27,127,200	注2)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	181,880,000	239,993,823	58,113,823	注9)、注10)
計	7,184,365,000	6,911,125,665	△ 273,239,335	
収入－支出	-	624,652,988	624,652,988	

注1)平成18年度中の運営費交付金収益化額が見込額より少なかったことに伴い、平成19年度へ当該債務を繰り越したこと
によって、決算金額が予算金額より354,770,924円多額となっています。

注2)補助金等が見込よりも多かったことにより、予算金額に対して決算金額が27,127,200円多額となっています。

注3)主として検定料について見込よりも志願者数が多かったために、予算金額に対して決算金額が12,325,174円多額
となっています。

注4)主として資金運用により得た受取利息、学術指導収入等の増加により、予算金額に対して決算金額が6,587,237円多額
となっています。

注5)外部資金獲得に努めたため、予算金額に対して決算金額が65,269,565円多額となっています。

注6)主として、観光学部設置計画の変更等により、予算金額に対して決算金額が114,666,447円減少しています。

注7)人件費は退職者が予定より少なかったことにより66,541,862円、教職員数が予定より少なかったこと等により
136,560,183円減少しました。さらに、目的積立金取崩予定額が72,640,306円減少しました。人件費減少額のうち
73,352,411円を教育研究のための物件費に充てたため、結果として、予算金額に対して決算金額が202,389,940円少額と
なっています。

注8)人件費は退職者が予定より少なかったことにより25,038,366円、職員数が予定より少なかったこと等により
36,872,739円減少しました。さらに、目的積立金取崩予定額が42,026,141円減少しました。また、一般管理のための
物件費は、管理経費の縮減に努めたため52,153,172円減少し、結果として、予算金額に対して決算金額が156,090,418円
少額となっています。

注9)外部資金獲得に努めたため、予算金額に対して決算金額が58,113,823円多額となっています。なお、決算額には、前
年度以前における「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」の繰越額のうち当年度支出額39,758,975円が含まれていま
す。

注10)科学研究費補助金の間接経費は、決算報告書では収入の産学連携等研究収入及び寄附金収入等、支出の産学連携等研
究経費及び寄附金事業費等に計上していますが、損益計算書では経常収益の研究関連収入、経常費用の業務費及び一般管
理費に計上しています。